

那覇市長 宛

令和 2 年 11 月 25 日

団体名 NPO法人沖縄県脊髄損傷者協会

代表者 理事長 仲根 建作

担当者 仲根 建作

新型コロナウイルス感染症対応『市民活動チャレンジ助成事業』

中間報告書

令和2年8月5日付、那覇市指令市ま第1375号で交付決定の通知を受けた当該事業について、下記のとおり報告します。

1.事業名	新型コロナウイルス禍における身体障がい者の地域生活影響調査
2.実施内容 (交付決定から現在までの実績を具体的に記入)	(何をいつ実施したか、対象者や実施場所、事業の実施は計画どおりか、など) 8月20日 交付決定に伴い、協力機関となる那覇市身体障害者福祉協会と実施スケジュール、方法等について協議。第2波の中にあることから経過観察した後の10月中旬当たりでの調査開始とし、それまでに調査票作成 とすることとした。 9月17日 第1回調査検討委員会開催。調査項目内容の検討。 10月2日 調査内容に基づく「webフォーム」制作に入る 10月9日 協働予定の那覇市障がい者基幹相談センターより、調査活動に伴う訪問ヒヤリングの自粛申し出。 11月6日 第2回調査検討委員会開催。12月初旬からの調査開始スケジュール変更を確認
3.これまでの活動の振り返り ・良かった点 ・工夫した点 ・不安な点 ・課題や反省点 など	【良かった点】 関係機関と顔が見える関係で役割分担化した連携協議ができたこと。 【工夫した点】 コロナ禍ということでオンライン（Zoom）でのミーティング開催できたこと。 【不安な点】 コロナの影響による訪問ヒヤリングのタイミングが難しい。 【課題や反省点】 協働する団体間の歩調合せが難しいことから、単独での調査活動に踏み込む必要を感じている。
4.年度内の事業予定	(何をいつ実施するか、対象者や実施場所、など) 年内で、調査（web公開と訪問調査を同時に実施）し1月中調査まとめとする必要がある。

第1回調査検討会議



オンライン打ち合わせ



5. 写真
(レイアウト自由・
簡単な説明文を記入)